

対談

信頼される議会へ

芦屋市議会議員

西宮市議会議員

中島かおり  よつや薫

議会と行政、二元代表制のあるべき姿とは

《な》女性議員を増やす活動でご一緒しました。多くの議員の中から対談相手に選んで頂いてありがとうございます。

《よ》中島さんとは無所属の市民派議員の勉強会で出会いました。いつも熱心に勉強されていますね。

《な》議案に対する責任は大きいのですから。議会の議決がなければ予算執行はできず、行政は滞ります。それほど大きな判断のためには勉強や調査は必要です。

議員になった当初、条例や計画を読んでもわからないことだらけで、強烈に勉強しようと思いました。

《よ》西宮では9月議会、12月議会と続けて、市長提案に対して議員提案の修正案が可決されました。修正案の連続可決なんて初めての経験です。こういう緊張感があると市長も漫然と議案を出せなくなり、議会も勉強します。二元代表制の本来あるべき姿です。市長の独裁にならないように議会があるのですから。

《な》議員になり意思決定の場で発言する重要さと同時に“議員だから何でもできる”ということではないと実感しました。議案には

賛成か反対どちらかですが、政策を行政が実現する中で意見が反映されることがあり、そこに議員の本領が発揮できてやりがいも感じます。

《よ》反対するだけでなく、賛成して「ここを注意して進めてください」というのも大事ですね。予算や決算で意見が活かされることはあります。昨年、電気の入札を提案し大きな削減につながりました。他市の状況、西宮の現状と改善点を調査し、一般質問して答弁を引き出し実施につなげる。市政に貢献できたことの一つの例です。

西宮市議会では3月に「議会基本条例」*の制定をめざしています。芦屋市議会は2014年に施行されましたね。

《な》私は議会改革特別委員会の委員として3年半「議会基本条例」の議論に携わり、まとめることができ感慨深いものがあります。二元代表制の一翼として本来の機能を果たす政策提案のできる議会、市民に開かれた議会にするためのツールになると思います。

相次ぐ地方議会への批判

《よ》私は、市民のみなさんと情報の共有を選挙公約にも挙げて、インターネットでの情報発信、議会前後の市政報告会、議会ごとの通信発行、街宣をして通信を配ります。

《な》私も情報公開は公約にしています。同様に駅立ち、通信、

ブログ、フェイスブックなどできる限り情報発信をしています。

芦屋市議会では、全議員が班分けをして議会報告会を開き、市民の方に参加していただいています。地方分権、地方創世の時代になり、市民の力は大きいのですから。

《よ》2014年は地方議会が批判される事件が相次ぎ、議員の資質が問われています。今までも議員は何をしているのかわからない、報酬が高いなどの批判はありましたが。

《な》「政務活動費」という文言が一般的になって、注目してくださる方が増えたと感じています。

セクハラもありますね。直近の経験では、加害者の男性議員は後日詫びてきましたが、悪いと思っていない様子でした。その現場にいた議員に謝るように促されただけで、セクハラの自覚がありませんでした。話をしましたが逆切れされただけで解決にはならず、被害者の私が微妙な立場に立たされてしまいました。

事業所には相談窓口が法律で義務づけられていますが、議会にはありません。相談できる窓口など何らかの対策は必要です。

《よ》「セクハラ野次」事件後、議員対象に研修をした地方議会もありました。研修はするべきですね。女性の議員が増えれば状況も変わると思います。

市民に身近な議会に

《な》女性でなければとは思いませんが、確かに女性の議員は少な過ぎます。投票率を見るかぎり女性が政治に関心がないわけではないのです。私たちのように世襲でも党の関係者でもなく大きな組織もない人が議員をしているのを見て、立候補しようと思う人が出てきてほしいですね。

《よ》市民に身近な議会にするのも私たちの役目。これから無所属で立候補を考えている人には何でも伝えたいです。

《な》カンボジアで学校建設のボランティアに携わった経験があるので、新制度に大きく移行するいま、日本の未来を託す子どもの問題に、更に全力投球で取り組んでいきます。

《よ》私は高齢社会の問題ですね。介護保険制度もどんどん変わりますし。行政はもちろんインフラ整備を進めるでしょうが、議会としても超党派で取り組まないと追いつかない課題が多いと感じています。

*議会基本条例：地方議会の基本原則を定めた条例。首長らが議案を説明し議員は質問するだけの地方議会のあり方を見直し、議会の活性化が目的。2006年以降、議会基本条例制定の大きな流れがある。



中島かおり

芦屋市出身 愛光幼稚園、神戸海星を経て宝塚音楽学校・歌劇団へ。退団後国際ボランティア、県男女共同参画推進員等を経て、2007年芦屋市議会議員に初当選。第75代副議長。現在2期目。



よつや薫

親和女子高等学校、大阪女子大学（現大阪府立大学）、神戸大学法学部卒業後、法律事務所、NPO 団体勤務。「市民オンブズ西宮」代表世話人。2007年西宮市議会議員に当選。現在2期目。